
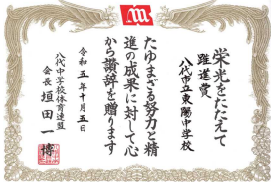


東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年10月13日（金）No 23発行
文責：松本 卓也

仲間にはとても感謝しています ～駅伝競走大会 Part2～

東陽旋風を巻き起こした八代中体連駅伝大会、子どもたちの振り返りを一部を紹介します。

<p>女子 キャプテン Iさん</p>	<p>中体連駅伝では、みんなの応援のおかげで最後まで走りぬくことができました。3年生として、1・2年生を引っ張ったり、まとめたりのが大変だったけど、毎日の朝ランや夏休み・放課後の陸上練習を頑張ってきてよかったなと思います。一緒に、学校での駅伝練習や自主練習をしてくれた仲間にはとても感謝しています。3年間選手として走って、毎年、「楽しかった」という思いで終わったので、達成感を感じることができました。</p>	
<p>男子 キャプテン Sさん</p>	<p>本番では朝ランや放課後の練習、クラブでの練習など今ま自分で培ってきた練習の成果を発揮することができました。自分なりのタイムはもう少し上げることができたので、応援があったから、苦しい場面でも最後まで力を出さることができた気がします。学校の規模が小さい東陽中学校ですが、男子は「躍進賞」をとった選手も応援の補欠の人も多かったです。今回走った選手も応援の補欠の人も全員が協力して学校全体が一つになっていたと思います。</p>	
<p>1年生 Tさん</p>	<p>私は走る人たちを応援しに行ってきたなと思いました。みんな頑張っていると思うし、自分たちもしっかりと走る人たちを応援することができたと思います。すごく大きな声でたくさん応援したら、「うれしかった」と言ってくれて私もうれしくなりました。来年も、大きな声で応援しようと思いました。</p>	
<p>2年生 Tさん</p>	<p>私は、駅伝大会は選手だけが頑張るものだと思っていましたが、走る人はもちろん選手のサポートをする人や応援する人も頑張らなくてはいけないと感じました。選手が頑張っているのを見ると「自分も頑張らないと」と勇気をもらいました。来年こそは、中体連駅伝大会に出れるように頑張ろうと思います。</p>	
<p>3年生 Wさん</p>	<p>きつい思いをしているのはみんな一緒、努力を重ねてきたのもみんな一緒なので、出場している選手全員に、感謝の気持ちも込めて積極的に応援をしていきたいと思いました。東陽中の全校生徒で全員の選手を応援する文化のようなものも、受け継いでいけたらいいなと思いました。将来、私も応援される人になれるように身近なことから頑張っていこうと思います。</p>	

「駅伝競走大会に参加してよかったですか？」の問いに、「参加してよかった。東陽中学生一人一人がそれぞれの役割を頑張っていたから。」と答えた生徒がいました。駅伝競走大会を通して、さまざまなことを感じ、学んだことが何えました。大きく成長した東陽っ子です。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()